

各 位

会社名 ダイヤ通商株式会社  
 代表者名 代表取締役 菊池 新治  
 (JASDAQ・コード:7462)  
 問合せ先 管理部マネージャー 星野 悠  
 電話 03-5977-1561

特別損失(減損損失)の計上と業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2019年3月期(2018年4月1日から2019年3月31日)において下記の通り固定資産の「減損損失」を特別損失として計上するとともに、2019年2月12日に公表しました通期業績予想と本日開示いたします「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の通期業績実績値と、下記のとおり差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の内容

当社が店舗展開するSS事業と専門店事業において収益性の低下により「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損の兆候が認められたことから2019年3月期決算において、当社が保有する店舗の固定資産の一部の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、「減損損失」28百万円を特別損失に計上する判断に至ったものであります。

2. 業績予想と実績値の差異について

(2018年4月1日~2019年3月31日)

(金額の単位:百万円)

|                | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想(A)      | 3,211 | 39   | 34   | 696   | 966.73         |
| 今回発表値(B)       | 3,333 | 39   | 48   | 734   | 1,018.86       |
| 増減額(B-A)       | 122   | 0    | 14   | 37    |                |
| 増減率(%)         | 3.8   | 0.3  | 41.8 | 5.4   |                |
| 前期実績(平成29年3月期) | 3,129 | 21   | 17   | 2     | 2.98           |

業績予想の差異の理由

当社の主力事業である石油事業において、2019年3月29日に埼玉県川越県税事務所より軽油引取税更正通知書を受領し、営業外収益として7百万円計上したため経常利益が予想を上回る結果となりました。

以上